

令和7年度 第10回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和8年1月22日（木）10時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・今年になり初めての会議ではあるが、既に本年度10回目の開催となる。先日は第2回の外部評価委員会を開催していただき、現在進めている先行地域づくり事業について、概ね順調に進捗しているという評価をいただいたが、一方でEV車の普及に向けた村民の皆さんへの啓発等もすると良いのではないかというお話もあった。車の買い替え時にEV車を選びたいというようなアンケート結果も多く、今後はその実現に向けて更に村民の皆さんへの啓発を進めていきたい。
- ・来年度に向けてのPPA事業（オンサイト・オフサイト）も着々と進行している。特にオフサイト事業地については、しっかり地域の皆さんにご理解をいただきながら、整備をしていく必要がある。来年度は民家への導入を100件近くしたいと思っており、また皆さんと色々と協議をしながら進めていきたい。
- ・上生坂地区内のマイクログリッド工事も順調に進んでおり、県道の工事はほぼ完了し、電柱が何か所にも設置され、このあと電線の架設をするということである。来月にはB&G海洋センター裏に大型蓄電池も設置され、5月頃の稼働に向けて整備が進んでいる。
- ・引き続き広報計画も、務台アドバイザーからのご意見を頂戴して、4コマ漫画で分かりやすい情報発信として、今回の龍と子でも周知を図っている。それぞれの角度から、村民の皆さんにご理解とご協力をいただきながら、しっかりとこの事業を進めていきたい。

【協議事項】

○令和7年度第2回外部評価委員会について

- ・令和8年1月16日（金）に行われた第2回外部評価委員会の内容及び評価委員から出た質問、意見を踏まえての対応について説明。

○上生坂マイクログリッド工事について

- ・上生坂区域内で行う架空工事（電線・変圧器等新設）の内容について説明。

○広報計画について

- ・以下の多様な手段による事業の周知について説明。
 - ・広報誌「龍と子」の発行
 - ・ホームページ、SNS（X・Instagram）での情報発信
 - ・脱炭素事業やEVバス等を紹介するポスター掲示
 - ・村内イベントでのチラシ配布
 - ・脱炭素事業を紹介する動画のシリーズ配信
 - ・ボードゲームを用いた学びの提供 など
- ・V2H（Vehicle to Home）は、この言葉だけでは「何ができて、何が良いのか」が伝わりにくいので、分かりやすく説明した方が良いという意見があった。
- ・漫画は興味を持った方が、自分のタイミングで深く学べる仕組みなので、この方法なら限られたスペースを有効に使いながら理解を深めやすく、子どもたちへの環境教育にも活用してはどうかという意見があった。

○その他

- ・昭津地区太陽光パネル設置状況について、工事は完了し2月中旬を目途に発電を開始していく予定と説明があった。
- ・龍と子 Vol 25 について説明。
- ・電気料金プランの比較表で、比較表示の位置が分かりにくく、「割引がある・ない」の受け取り方が逆に伝わってしまう恐れがあるので、比較表示の配置を改善すればどうかという意見があった。
- ・一人一人が“我が事”として取り組むカーボンニュートラル、という視点を言葉としてはっきり打ち出すことが重要。また、村の主役は村民の皆さんであることを、明確に伝えた方が良いという意見があった。
- ・料金プランに関心を持った方が、その場ですぐ申し込みできるようなQRコードの掲載を行えばどうかという意見があった。

- ・ 1月25日（日）午前10時から午後3時に計画している薪・ペレットストーブフェア in 道の駅いくさかの郷について説明。松本山雅から、当日天候が心配だが、イベントを通じて普及啓発とクラブの認知向上を図りたい。HP等で情報発信し、ガンズ君等の活用で親しみやすさを強化していきたい。また、アンケートを継続実施し、認知向上効果と薪及びペレットストーブの購入意向を把握していきたいという説明があった。

【意見・質問】

- ・ EV車の普及には充電インフラ整備と分かりやすい料金設定が不可欠。
- ・ 太陽光発電の余剰電力を活用し、週末限定で村民向け無料EV充電サービスを行えばどうか。
- ・ 村内にEV保有がほとんどない点が最大の課題であり、今後のEV車普及に向け、村内のEV保有台数の実態把握が必要である。
- ・ 各区に設置しているV2Hを利用した住民サービスに繋がる仕組みを検討する必要がある。